

2022年度 授業計画（シラバス）

	エステティック理論II	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	村中 梨絵	学年・学期	2年・前期	時間数	15時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>・エステティック機器の使用方法和効果、禁忌について学ぶ。またブランド化粧品のコンセプトや化粧品成分についてや脱毛の理論と毛周期についても学ぶ。</p> <p>・授業は講義形式で行い、エステティックの技術に必要な機器の使用方法和効果、禁忌事項の理解度を深め実技演習につなげて行く授業である。</p>						
到達目標	<p>①エステティック機器の使用方法和効果、禁忌について理解し、実習に繋げていく。</p> <p>②肌に合った化粧品の選択ができるようにする。</p> <p>③毛周期を理解し、脱毛について説明ができるよう理解する。</p>						
授業計画・内容							
第1週	G5について						
第2週	低周波機器について						
第3週	サクション（ボディパター）について						
第4週	背中ブラシクレンジング、美白トリートメントについて						
第5週	フットのケアについて						
第6週	フェイシャルカウンセリング機器について						
第7週	フェイシャル機器 パターについて						
第8週	フェイシャル機器 イオン導入について						
第9週	フェイシャル 超音波 エクスフォリエーターについて						
第10週	毛周期について						
第11週	ワックス脱毛について①						
第12週	ワックス脱毛について②						
第13週	ブランド化粧品のコンセプトについて						
第14週	ブランド化粧品の成分について						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>・学期末試験で筆記試験を実施し、その結果で成績を評価する。</p> <p>・※評価目安：筆記試験の結果×出席率</p>						
教科書 教材など	新エステティック学 全6冊						
実務経験	株式会社AILEにて10年間勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	エステティック応用演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	村中 梨絵	学年・学期	2年・前期	時間数	45 時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	<p>・授業は実技演習形式で行う。・それぞれの悩みに合った化粧品を選択し、効果効能を体感する。・エステティック機器を使用し、エステティックの奥深さ・可能性を体感する。</p>						
到達目標	<p>・エステ機器の使用方法の習得。・肌質・ブランドによる化粧品の違いを理解する。・相モデルで行うことでおもてなしの心を身に着ける</p>						
授業計画・内容							
第1週	フェイシャルトリートメント						
第2週	フェイシャルトリートメント						
第3週	フェイシャル機器(イオン導入)						
第4週	フェイシャル機器(イオン導入)						
第5週	フェイシャル機器(エレクトロクレンジング)						
第6週	フェイシャルトリートメント(パック)						
第7週	フェイシャルトリートメント (パック)						
第8週	ボディトリートメント						
第9週	フェイシャル機器 (吸引)						
第10週	フットケア						
第11週	フェイシャルトリートメント						
第12週	ボディトリートメント						
第13週	フェイシャルトリートメント (選択化粧品)						
第14週	フェイシャルトリートメント(選択化粧品)						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（60％）・課題提出（20％）授業態度や出席（20％）</p>						
教科書 教材など	認定フェイシャル・ボディエステティシャン 理論と実技						
実務経験	株式会社AILEにて10年間勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	メイクアップ応用演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	村中 梨絵・杉山 葉月	学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・メイクアップ技術検定2級取得に向けての実習 ・授業は実技演習形式で行う。・IBFのテキストを使用し様々なパターンのメイクアップを行うことでメイクの多様性・奥深さを体感する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・メイクアップ技術検定2級取得 ・IBFテキストの各メイクアップパターンの特徴を理解する。・フルメイクの技術向上。 						
授業計画・内容							
第1週	二級試験対策						
第2週	二級試験対策						
第3週	試験日						
第4週	VoCE カラー診断(相モデルの似合うメイク提案)						
第5週	キュートメイク						
第6週	シャープメイク						
第7週	ポリッシュメイク						
第8週	ウエディングメイク						
第9週	チーム戦メイクコンテスト(チーム分け、フェイシャル画、作戦会議)						
第10週	チーム戦メイクコンテスト本番						
第11週	パーティーメイク						
第12週	浴衣メイク						
第13週	メイク						
第14週	前期試験対策						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（60%）・課題提出（20%）授業態度や出席（20%）</p>						
教科書 教材など	IBFテキスト Part3 variations						
実務経験	株式会社HABAにて6年間勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ネイル応用演習	学科名	トータルビューティ学科		授業方法	演習
担当教員	石井貴子	学年・学期	2年・前期	時間数	45時間	必須・選択
授業概要 ・ 授業内容	<p>前半は、計画では一年生の時に行うジェル初級検定の受験を目指し、ジェルネイルを施術するために必要な基礎知識を伝え、技術も習得していきます。</p> <p>後半は、ネイル専攻以外（エステティック専攻）の学生が少しでもネイルが楽しいと思えるような、自分にも使える実用的なネイル技術を伝えていきます。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルネイル初級検定合格 ・学んだ技術を組み合わせ、ネイルチップを製作 					
授業計画・内容						
第1週	シラバス説明、2級検定受験者は通し練習　その他の人はネイルケア相モデル練習、筆記試験問題					
第2週	ジェルの手順1つずつ確認しながら足並みを揃えて相モデル練習、筆記問題					
第3週	ジェルカラーリング、ポリッシュカラーリング、ピーコックアート相モデル練習（60分）					
第4週	ジェルカラーリング、ポリッシュカラーリング、ピーコックアート相モデル練習（50分）、筆記問題					
第5週	〃					
第6週	〃					
第7週	ジェルカラーリング、ポリッシュカラーリング、ピーコックアート本番相モデル練習（60分）					
第8週	〃					
第9週	ジェル初級検定					
第10週	3Dアート、エンボスアート、説明デモ、ハンド練習					
第11週	ジェルアート応用（シール&ホロ、ホイル、スポンジ、ワイヤー&天然石					
第12週	（たいだい&ラメ囲み、水面、たらしこみ 等					
第13週	ネイルチップ制作					
第14週	〃					
第15週	ネイルケア、相モデル練習、1分間スピーチ					
評価方法	出席状況、授業態度、チップ制作の仕上がりなどを中心に評価します。 前期試験中の試験は行いません。					
教科書 教材など	1年生の時の教材持ち込み、ジェル筆のみ個人購入 その他の用具用材は学校貸し出し					
実務経験	石井貴子：ネイルサロン経験12年（有限会社 うるわし）				実務経験のある教員による 授業科目	
					✓	

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	作品製作	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	木村裕美	学年・学期	2年・前期	時間数	60時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	<p>自由な発想とテクニックで、ヘアやメイクでイメージを表現する技術を中心に学び、撮影やショーで「伝える」ための作品を制作する。</p> <p>授業は主に、実技演習形式で行い、絵画、映画、MVなどからインスピレーションを受け、自由な発想とテクニックでヘア、メイクを完成させていく。OBMコレクションに向けて表現する技術を学び、「伝える」ための作品を制作する。同時にグループで作品を制作することで、同じ目標に向かって協力することや協調性を養う。</p>						
到達目標	<p>学生たちが得た発想や感性を生かし、制作し作品を残す。また今まで学んだことをOBMコレクションで発揮できるように指導する。</p>						
授業計画・内容							
第1週	模写メイクデザイン決定						
第2週	模写メイクデザイン撮影①						
第3週	模写メイクデザイン撮影②						
第4週	絵画、映画、MVなどからのインスピレーション①デザイン画作成						
第5週	絵画、映画、MVなどからのインスピレーション②制作						
第6週	絵画、映画、MVなどからのインスピレーション③制作、撮影						
第7週	絵画、映画、MVなどからのインスピレーション④制作、撮影						
第8週	OBMコレクション準備						
第9週	OBMコレクション準備						
第10週	OBMコレクション準備						
第11週	OBMコレクション準備						
第12週	OBMコレクション準備						
第13週	OBMコレクション準備						
第14週	OBMコレクション準備						
第15週	OBMコレクション準備						
評価方法	<p>定期試験は実施せず、実習、実技内容や協調性と出席状況や授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安→実習実技内容や協調性（90%）、授業態度や出席（10%）</p>						
教科書 教材など	教員作成プリント、各自メイクボックス						
実務経験	Fika beauty&relax オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・前期	時間数	15時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>学生たちが将来就業するビューティ業界においては、お客様の肌や身体に直接触れて施術を行うため、適切な衛生管理が求められる。お客さまとサービス担当者の健康を守るための適切な衛生措置や消毒方法について学ぶ。</p> <p>授業は講義形式で行う。</p>						
到達目標	<p>サロンにおける衛生管理を適切かつ徹底して行うことができる知識や技能を知り、お客さまの信頼を得ることができるサービス担当者の基本を身につける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	衛生管理の授業概要、受講上の注意						
第2週	衛生管理の考え方 エステティックサロンにおける衛生管理の対象						
第3週	エステティックサロンにおける衛生基準						
第4週	血液、体液の処理方法 感染経路						
第5週	病原微生物						
第6週	正しい手洗いの方法 器具、備品の洗浄消毒の手順						
第7週	消毒方法						
第8週	感染症の法規制						
第9週	ネイルサロンにおける衛生管理の対象						
第10週	ネイルサロンにおける衛生基準						
第11週	揮発性溶剤に関する知識 リスクアセスメント 消防法						
第12週	薬機法（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保などに関する法律）						
第13週	事例解説①（揮発性溶剤に関する事例解説）						
第14週	事例解説②（化粧品に関する事例解説）						
第15週	事例解説③（使用器具などの衛生措置に関する事例解説）						
評価方法	<p>定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安：定期試験（60%）・課題提出（20%）授業態度や出席（20%）</p>						
教科書 教材など	「エステティックの衛生基準」、「ネイルサロン衛生管理マニュアル」、プリント						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとし9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	イメージメイクアップ	学科名	トータルビューティ学科		授業方法	演習	
担当教員	木村裕美	学年・学期	2年・通年	時間数	180時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	メイクアップの基礎知識、ベーシックな技術、アイテムの知識を基盤に感性、センス、人間性を磨いていく。授業は主に実技形式で行い、デモンストレーションや講義形式を交え、様々なメイクの技術を学んでいく。最終的には授業のまとめとして、卒業制作を完成させる。						
到達目標	様々な年齢肌の悩みを学び知ること、社会に出た際、お客様のニーズに合わせた接客ができるように指導する。また年代別メイクの流行を知ること、現在のメイクの進化した形を修得する。						
授業計画・内容							
第1週	授業内容の説明、ウィッグヘテーマメイク①	第16週	年代別メイク 90年代				
第2週	ウィッグヘテーマメイク②	第17週	年代別メイク まとめ				
第3週	マスクメイク①	第18週	実技テスト				
第4週	マスクメイク②	第19週	傷メイク①				
第5週	年齢別メイク 20、30代	第20週	傷メイク②				
第6週	年齢別メイク 40、50代	第21週	和装メイク①				
第7週	年齢別メイク 60、70代	第22週	和装メイク②				
第8週	年齢別メイクまとめ	第23週	洋装ブライダルメイク①				
第9週	実技テスト	第24週	洋装ブライダルメイク②				
第10週	ボティジュエリー①	第25週	洋装ブライダルメイク③				
第11週	ボティジュエリー②	第26週	和装、洋装ブライダルまとめ				
第12週	年代別メイク 50年代	第27週	卒業制作①				
第13週	年代別メイク 60年代	第28週	卒業制作②				
第14週	年代別メイク 70年代	第29週	卒業制作③				
第15週	年代別メイク 80年代	第30週	卒業制作④				
評価方法	定期試験を実施し、前期、後期実技試験の結果と小テスト、授業態度や身だしなみ、出席状況及び提出物などを考慮して成績を評価する。 ※評価目安：実技試験と小テスト（60%）・授業態度・出席や身だしなみ（30%）・提出物（10%）						
教科書 教材など	教員作成プリント						
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	メイクアップコミュニケーション	学科名	トータルビューティ学科		授業方法	演習
担当教員	中山 いずみ	学年・学期	2年・通年	時間数	105 時間	必須・選択 必須
授業概要 ・ 授業内容	前半では、普段みんながメイクを行っているメイクを見直していくための知識と基本を学んでいく。なりたい自分をイメージしたり、自分の顔のパーツの中でのポイントやコンプレックスを知っていく。後半では、相モデルになりお互い「なりたい自分」を見つけ出し、メイクをして繰り返しS練習をしていく。					
到達目標	本科目「メイクアップコミュニケーション」では、まず自分の個性と魅力を客観的に把握することから始め、こう見られたい・・・こうなりたい・・・という印象を描き与えたい印象を表現できるようにする。また心理学に基づいたメイク理論を用い、マナーや身だしなみといった一時的な改善にととどまらず、外見を磨くことで自分の内面を強化してモチベーションアップしていく。周囲とのより良い信頼関係を構築する社会的知性を育む。					
授業計画・内容						
第1週	メイクアップコミュニケーション概論	第16週	メイクの印象分析①			
第2週	色のイメージ①	第17週	メイクの印象分析②			
第3週	色のイメージ②	第18週	メイクの印象分析③			
第4週	印象分析①	第19週	心理面の変化①			
第5週	印象分析②	第20週	心理面の変化②			
第6週	印象分析③	第21週	心理面の変化③			
第7週	目の錯覚効果①	第22週	カウンセリング練習①			
第8週	目の錯覚効果②	第23週	カウンセリング練習②			
第9週	コスメの質感①	第24週	カウンセリング練習③			
第10週	コスメの質感②	第25週	カウンセリング～メイクまで①			
第11週	なりたい自分になるためのメイクアップ練習①	第26週	カウンセリング～メイクまで②			
第12週	なりたい自分になるためのメイクアップ練習②	第27週	カウンセリング～メイクまで③			
第13週	なりたい自分になるためのメイクアップ練習③	第28週	カウンセリング～メイクまで④			
第14週	なりたい自分になるためのメイクアップ練習④	第29週	まとめ			
第15週	なりたい自分になるためのメイクアップ練習⑤	第30週	実技テスト			
評価方法	定期試験を実施し、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 *評価目安：定期テスト（90%）・課題や授業態度、出席（10%）					
教科書 教材など	メイクアップコミュニケーション プリント					
実務経験	ソニーCP パンドーラ 3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目	✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ビューティアドバイザー	学科名	トータルビューティ学科		授業方法	演習
担当教員	中山 いずみ	学年・学期	2年・通年	時間数	135 時間	必須・選択 必須
授業概要 ・ 授業内容	前半では、メイクアップアドバイザーとして心がけなければならない「メイク接客のマナー」、「サービスマナー」を中心に学んでいく。後半では、「メイクアップカウンセリング」、「メイクアップアドバイス」を中心に相モデルで繰り返し練習をし様々なパターンを学び、経験をしていく。					
到達目標	本科目「ビューティアドバイザー」では、メイクの基本知識、技術を踏まえた上で、仕事人として適用する（接客マナー、カウンセリング力、アドバイス力）を備えた学生を育てる。					
授業計画・内容						
第1週	ビューティアドバイザー概要	第16週	メイクアップアドバイス③			
第2週	メイク接客の心得①	第17週	メイクアップアドバイス④			
第3週	メイク接客サービスの流れ	第18週	メイクアップアドバイス⑤			
第4週	メイク接客マナー①	第19週	カルテの作成①			
第5週	メイク接客マナー②	第20週	カルテの作成②			
第6週	メイク接客マナー③	第21週	カルテを活用したアドバイス①			
第7週	メイク接客マナー④	第22週	カルテを活用下アドバイス②			
第8週	メイク接客マナー⑤	第23週	確認テスト			
第9週	メイクアップカウンセリング①	第24週	相モデルで来店～退店までの練習①			
第10週	メイクアップカウンセリング②	第25週	相モデルで来店～退店までの練習②			
第11週	メイクアップカウンセリング③	第26週	相モデルで来店～退店までの練習③			
第12週	メイクアップカウンセリング④	第27週	相モデルで来店～退店までの練習④			
第13週	メイクアップカウンセリング⑤	第28週	相モデルで来店～退店までの練習⑤			
第14週	メイクアップアドバイス①	第29週	まとめ			
第15週	メイクアップアドバイス②	第30週	実技テスト			
評価方法	定期試験を実施し、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 *評価目標：定期テスト（90%）・課題内容・授業態度や出席（10%）					
教科書 教材など	メイクアップアドバイザーテキスト（自作）					
実務経験	ソニーCP パンドーラ 3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目	✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	メイクアップ集中演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	木村裕美	学年・学期	2年・前期	時間数	30時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	校内コンテスト対策：アイホールにフォーカスしたデザインメイクを25分間で行う。						
到達目標	模写ではなく、自分でデザインした作品が、意図したイメージ通りに仕上げられるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	ポテンシャルチェック①（アニマル）						
第2週	ポテンシャルチェック①（アニマル）						
第3週	ポテンシャルチェック①（アニマル）						
第4週	ポテンシャルチェック②（魚）						
第5週	ポテンシャルチェック②（魚）						
第6週	ポテンシャルチェック②（魚）						
第7週	メイクアップをデザインする						
第8週	メイクアップをデザインする						
第9週	メイクアップをデザインする						
第10週	つけまつ毛のつけ方・クリエイティブメイク・相モデル実習						
第11週	つけまつ毛のつけ方・クリエイティブメイク・相モデル実習						
第12週	つけまつ毛のつけ方・クリエイティブメイク・相モデル実習						
第13週	デザインを考える						
第14週	デザインを考える						
第15週	実習						
評価方法	定期試験は実施せずに、毎授業時間終了後に提出される課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：毎時間の課題（90％）・授業態度や出席（10％）						
教科書 教材など	教員が作成したプリント						
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	トラディショナルメイクアップ	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	木村裕美	学年・学期	1年・後期	時間数	15時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	化粧品は時代を映す鏡と言われるほど、化粧品は時代背景とともに移りゆく。過去に学んだ歴史に化粧品を照らし合わせ、女性の美に対する意識や変化を、西洋化粧品が一般的に行われるようになる現代までを時代を追いながら学ぶ。 授業は講義形式を中心に時代背景や和・西洋メイクの歴史の理解を深め、また代表となる時代のテーマメイクを相モデルで実習を行う。						
到達目標	美容に携わる者として、時代背景とともに美の遍歴を辿りながら学び、未来の美についても考え、最終的にはデザインを制作する。また化粧品の歴史を学び、和装メイク等の日本伝統文化を後世に伝えることを目標にする。						
授業計画・内容							
第1週	時代年表、化粧の起源						
第2週	魔除け、威嚇、カムフラージュ メイク実習						
第3週	江戸時代～明治時代 理論						
第4週	和装メイク実習（浴衣を自分で着れるようになる。ヘアメイクをして写真を撮る）						
第5週	歌舞伎メイク実習						
第6週	大正時代～昭和初期(戦前) 理論						
第7週	モダンガールメイク実習						
第8週	昭和中期～戦後 理論						
第9週	ヘップバーンメイク実習						
第10週	ツイギーメイク実習						
第11週	昭和50年代～60年代、平成 理論						
第12週	昭和50年代～61年代、平成 メイク実習①						
第13週	昭和50年代～62年代、平成 メイク実習②						
第14週	昭和50年代～63年代、平成 メイク実習③						
第15週	未来創造 実習						
評価方法	定期試験と実習実技内容、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（80%）・実習技術内容（10%）・授業態度や出席（10%）						
教科書 教材など	教員作成プリント						
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年					実務経験のある教員による 授業科目	
							✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	エステティック理論Ⅲ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・後期	時間数	60時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>・エステティックの基本は内面から美しくすること。身体のしくみをより深く理解し、人の肌に直接触れるために必要な、エステティック機器学、化粧品学、栄養学、運動生理学、衛生消毒などを学ぶ。</p> <p>・授業は主に講義形式で行い、肌タイプやトラブルの原因を見分け、トリートメントプランの組み立てや、使用する化粧品成分を理解しホームケアアドバイスができる力を養う。認定試験の口頭試問対策も学習する。</p>						
到達目標	<p>①総合的な学習を通じて、お客様の肌を見分ける力、トリートメントプランを立てる力、ホームケアアドバイスができる力を身に付ける。</p> <p>②実技試験の口頭試問に答えられる力を身に付ける。</p> <p>③センター試験の筆記試験に合格できるよう知識を身に付ける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	エステティック機器学①						
第2週	エステティック機器学②						
第3週	化粧品学①						
第4週	化粧品学②						
第5週	栄養学①						
第6週	栄養学②						
第7週	運動生理学①						
第8週	運動生理学②						
第9週	衛生消毒						
第10週	サロンでの救急法						
第11週	フェイシャルエステティックについて						
第12週	ボディエステティックについて						
第13週	口頭試問対策						
第14週	口頭試問対策						
第15週	センター試験対策						
評価方法	<p>・定期試験で筆記試験を実施しその結果で成績を評価する。</p> <p>※評価目安：筆記試験結果×出席率</p>						
教科書 教材など	<p>新エステティック学 全6冊</p> <p>化粧品成分ガイド第6版</p>						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	皮膚科学Ⅱ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・前期	時間数	30時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>・体表面全体を覆う人体最大の臓器である皮膚は、紫外線や乾燥などの影響を防ぎ、身体内部のホメオスタシスに大きな役割を果たしていることを理解する。</p> <p>・授業は講義形式で行い、皮膚の働きと仕組みをより深く理解し、正しいスキンケアについて学ぶ。また肌分析について学び、変化する環境に対してどのようなスキンケアをしたらよいかを学習する。</p>						
到達目標	<p>①肌をタイプ別に分類し、見分ける力を養う。</p> <p>②お客様の肌のトラブルの原因は何か、どんな要因が関係しているか分析し、どんなスキンケアが必要かご提案できる力を養う。</p>						
授業計画・内容							
第1週	肌の美しさを損ねる要因（紫外線・冷え）						
第2週	肌の美しさを損ねる要因（乾燥・エイジング）						
第3週	肌の美しさを損ねる要因（ホルモンバランス・ストレス・）						
第4週	さまざまな肌状態 肌意識の年代変化						
第5週	美しい肌と衰えた肌						
第6週	色素沈着を起こした肌						
第7週	ニキビ						
第8週	肌荒れと敏感						
第9週	肌と環境 肌と地域気候						
第10週	肌と気象の季節区分						
第11週	肌分析①						
第12週	肌分析②						
第13週	季節に合わせた肌トラブルとその対策①（春・夏）						
第14週	季節に合わせた肌トラブルとその対策②（秋・冬）						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>・学期末試験で筆記試験を実施し、その結果で成績を評価する。</p> <p>※評価目安：筆記試験の結果×出席率</p>						
教科書 教材など	<p>新エステティック学 全6冊</p> <p>化粧品成分ガイド第6版</p>						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	解剖生理学Ⅱ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・前期	時間数	30時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>・エステティック技術を行う上で大切な身体のメカニズムをより深く知ることで、トリートメントをさらに効果的に組み立てることができるようになる。</p> <p>・授業は講義形式で行い、身体に起こる様々な悩みの原因と身体のしくみの関連性を理解し、トリートメントの効果や目的などに合わせて施術が行えるように知識の向上を目指す。</p>						
到達目標	<p>①骨格や筋肉の位置、血液やリンパ液の流れ、自律神経系などの身体のメカニズムをより深く理解し、施術に生かす。</p> <p>②症状別に原因と対策を理解し、アドバイスができるような知識を身に付ける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	下肢背面の筋肉とその働き						
第2週	腰背部の筋肉とその働き						
第3週	肩甲骨まわりの筋肉とその働き						
第4週	下肢前面の筋肉とその働き						
第5週	上肢の筋肉とその働き						
第6週	筋肉と骨格の復習						
第7週	運動の重要性とアンチエイジング						
第8週	体系のバランス						
第9週	症状別アドバイス 筋疲労						
第10週	症状別アドバイス 肥満						
第11週	症状別アドバイス むくみ						
第12週	症状別アドバイス セルライト						
第13週	症状別アドバイス 冷え						
第14週	症状別アドバイス 乾燥						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>・学期末試験で筆記試験を実施し、その結果で成績を評価する。</p> <p>※評価目安：筆記試験結果（100%）</p>						
教科書 教材など	新エステティック学 全6冊						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	エステティックカウンセリング	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・後期	時間数	30時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>・エステティックカウンセリングとは、お客様の心にある悩みを聴くカウンセリングと、お客様のお肌の悩みをプロとして解決に導くコンサルティングの2つの目的があることを理解する。</p> <p>・授業は主に講義形式で行い、お客様との信頼関係を構築する上でカウンセリングが重要な役割を持つことを学び、カウンセリングの意味や効果、どのように導くと良いのかの実習も行う。</p>						
到達目標	<p>・社会人として、エステティシャンとして、求められる接客マナーを身に付けて、お客さまとのコミュニケーションを十分に図り、お客様に安心感を与えるカウンセリングと応対ができることをめざす。</p> <p>・お客様の悩みを解決するカウンセリングができる力を養う。</p>						
授業計画・内容							
第1週	カウンセリングとコンサルティングについて						
第2週	エステティックカウンセラーの役割						
第3週	顧客心理と、エステティックカウンセリングの基本姿勢						
第4週	カウンセリングとコンサルティングの実際						
第5週	エステティックカウンセリングの流れ（受付対応とビフォーアフターカウンセリング）						
第6週	エステティックカウンセリングの流れ（施術中カウンセリングとアフターカウンセリング）						
第7週	接客マナー						
第8週	カウンセリングの実際						
第9週	カウンセリングシートの作成						
第10週	カウンセリングシートの作成						
第11週	カウンセリングの実習						
第12週	カウンセリングの実習						
第13週	カウンセリングの実習						
第14週	カウンセリングの実習						
第15週	後期試験対策						
評価方法	<p>・学期末試験で筆記試験を行い、その結果で成績を評価する。</p> <p>※評価目安：筆記試験の結果（100%）</p>						
教科書 教材など	<p>新エステティック学 全6冊</p> <p>化粧品成分ガイド第6版</p>						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	フェイシャルエステティック応用演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・通年	時間数	225 時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	<p>・フェイシャルエステティックを理解し、コンサルテーションに基づくトリートメントを構成する力を養ない、使用する化粧品、機器を選択できるように実践学習する。</p> <p>・授業は主に実習演習形式で、肌状態に合わせたトリートメントを行い、肌の悩みを改善へと導く技術力を養う。また季節や肌状態に合わせたマッサージ技術を習得すると共に、プロとして販売および接客力を養う。</p>						
到達目標	<p>①お客様に合わせて、トリートメントプランが立てれる力を身につける。</p> <p>②トリートメントプランに合わせた技術が提供できる力を身に付ける。</p> <p>③肌状態や悩みに合わせてマッサージの技術の選択、力加減ができるようにする。</p> <p>④プロとしてのおもてなしができるよう接客技術を身に付ける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	基本手技通しの練習	第16週	夏のマッサージ①				
第2週	基本手技通しの練習及びテスト	第17週	夏のマッサージ②				
第3週	コンサルテーションの実習①	第18週	夏のマッサージテスト さまざまなデープクレンジング				
第4週	コンサルテーションの実習②	第19週	秋のマッサージ①				
第5週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第20週	秋のマッサージ②				
第6週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第21週	秋のマッサージテスト				
第7週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第22週	冬のマッサージ①				
第8週	校内コンテストの練習	第23週	冬のマッサージ②				
第9週	校内コンテストの練習	第24週	ヘッドマッサージ				
第10週	校内コンテストの練習	第25週	さまざまなパック				
第11週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第26週	メイク専攻との交流授業のトリートメント				
第12週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第27週	メイク専攻との交流授業のトリートメント				
第13週	センター試験対策	第28週	来客実習のトリートメント				
第14週	センター試験対策	第29週	1年生交流授業のトリートメント				
第15週	前期試験対策	第30週	後期試験対策				
評価方法	<p>・定期試験を実施し、実技試験結果と小テストや 授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安：実技試験結果×出席率</p>						
教科書 教材など	<p>新エステティック学 全6冊</p> <p>化粧品成分ガイド第6版</p>						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務			実務経験のある教員による 授業科目			✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ボディエステティック応用演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・通年	時間数	150時間	授業方法	演習
授業概要 授業内容	<p>・ボディエステティックを理解し、コンサルテーションに基づくトリートメントを構成する力を養い、使用する化粧品、マッサージ技術を選択できるように実践学習する。</p> <p>・授業は実技演習形式で、肌状態に合わせたトリートメントを行い、ボディの悩みを改善へと導く技術力を養う。季節や肌状態に合わせたマッサージ技術を習得する。プロとして、販売および接客力を養う。</p>						
到達目標	<p>①お客様に合わせて、トリートメントプランが立てられる力を身に付ける。</p> <p>②トリートメントプランに合わせた技術が提供できる力を身に付ける。</p> <p>③身体の状態や悩みに合わせてマッサージの技術の選択、力加減ができるようにする。</p> <p>④プロとしてのおもてなしができるよう接客技術を身に付ける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	基本手技通しの練習	第16週	下肢背面のマッサージ				
第2週	基本手技通しの練習及びテスト	第17週	腰背部のマッサージ				
第3週	コンサルテーションの実習①	第18週	下肢前面のマッサージ				
第4週	コンサルテーションの実習②	第19週	下肢前面のマッサージと足つば				
第5週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第20週	デコルテ二の腕のマッサージ				
第6週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第21週	マッサージ応用編 通し				
第7週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第22週	マッサージ応用編 通し				
第8週	校内コンテストの練習	第23週	機器による施術				
第9週	校内コンテストの練習	第24週	メジャーリングと身体の見方				
第10週	校内コンテストの練習	第25週	バンテージによる施術				
第11週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第26週	メイク専攻との交流授業のトリートメント				
第12週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第27週	メイク専攻との交流授業のトリートメント				
第13週	センター試験対策	第28週	来客実習のトリートメント				
第14週	センター試験対策	第29週	1年生交流授業のトリートメント				
第15週	前期テスト対策	第30週	後期試験対策				
評価方法	<p>・定期試験を実施し、実技テストの結果と小テストや授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安：実技テストの結果（80%）・小テスト（10%）・授業態度（10%）</p>						
教科書 教材など	<p>新エステティック学 全6冊</p> <p>化粧品成分ガイド第6版</p>						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	エステティック集中演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・前期	時間数	30時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	<p>・1年で身に付けた技術を忘れないために春休みに復習を兼ねた集中授業が必要であり、覚えてたの技術を継続することで身に付けさせることを目標にしている授業である。</p> <p>・授業は主に実技演習形式で行い、ボディ全身のオイルマッサージの技術を復習し、各手技の技術を向上させる。またフェイシャルのオイルマッサージを中心に復習及び技術を向上させる。</p>						
到達目標	<p>①全身のオイルマッサージの工程を覚え、技術力の向上をはかる。</p> <p>②フェイシャルトリートメントの技術力を向上する。</p>						
授業計画・内容							
第1週	フェイシャルのクレンジング及びマッサージの復習						
第2週	ボディマッサージの復習及び、技術力アップ						
第3週	臀部の学習（マニュアル、ビデオによる学習及び実習）						
第4週	腹部の学習（マニュアル、ビデオによる学習及び実習）臀部の復習						
第5週	臀部、腹部のテストの練習 及びテストの実施 フェイシャルオイルマッサージの復習						
第6週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第7週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第8週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第9週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第10週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第11週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第12週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第13週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第14週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第15週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
評価方法	<p>・春休み中に実技試験を実施し結果と出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>評価目安：実技試験の結果×出席率</p>						
教科書 教材など	新エステティック学 技術編						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務	実務経験のある教員による 授業科目				✓	

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	アロマセラピー	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義	
担当教員	千原 亜希	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	選択	
授業概要 ・ 授業内容	植物から抽出した精油（芳香物質）を使ったアロマセラピーの活用法で、美容と身体の健康維持のための方法を学ぶ。授業は講義と、実習（精油を使って作るクラフトづくり）を通じて実際に香りをかぎながら行い理解度を高めていく。							
到達目標	アロマセラピー検定1級合格を明確な目標と設定する。同時に日々アロマセラピーを活用し自己管理をしながら学校生活を送ることができるようにすることで、卒業後の就業に役立てることができるようにする。							
授業計画・内容								
第1週	オリエンテーション アロマセラピーの基本							
第2週	精油の4つの性質 植物の部位と精油 精油がもたらす作用							
第3週	精油の抽出法							
第4週	アロマセラピーの安全性							
第5週	アロマセラピーの実践① 実習：アロマスプレー作り・蒸気吸入体験							
第6週	アロマセラピーの実践② 実習：ハンドトリートメント							
第7週	アロマセラピーのメカニズム 精油が心身に伝わるしくみ							
第8週	ビューティー&ヘルスケア① 睡眠 ストレス							
第9週	ビューティー&ヘルスケア② 女性ホルモン スキンケア 実習：クレイパック、クリーム							
第10週	アロマセラピーの歴史①							
第11週	アロマセラピーの歴史②							
第12週	アロマセラピーの歴史③ 実習：ハンガリーウォーター							
第13週	アロマセラピーに関する法律							
第14週	アロマセラピー検定模擬テスト①							
第15週	アロマセラピー検定模擬テスト② 実習：なりたい自分になれるアロマスプレー							
評価方法	<p>・第10週ごろより、アロマセラピー検定に即したミニテストを実施。授業態度、出席状況、模擬テスト試験結果を考慮して評価する。</p> <p>※評価目安：模擬テスト（70%）・小テスト（10%）・授業態度（10%）・出席状況（10%）</p>							
教科書 教材など	アロマセラピー検定 公式テキスト1級・2級（2019年1月改訂版）、その他実習用副教材							
実務経験	アロマサロン5年間勤務、2020年よりアロマサロン&スクール経営					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ジェルネイル応用演習Ⅰ	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・前期	時間数	45時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	ジェルネイル初級、中級合格の為に必要なテクニックと知識を習得する ジェルの初級の内容であるネイルケアとジェルワンカラー、ピーコックの実習 ジェル中級のジェルグラデーション、ジェルフレンチ、ジェルイクステンションの実習 ジェル初級は相モデルにて、ジェル中級はハンドにて実習を行う						
到達目標	ジェルネイル検定初級の合格。 ジェルネイル検定中級の合格。						
授業計画・内容							
第1週	【相モデル実習】 ネイルケア						
第2週	【ハンド実習】 ジェルネイルワンカラー（赤）、ピーコック復習						
第3週	【相モデル実習】 ネイルケア（片手） ジェルネイルワンカラー ピーコック						
第4週	【相モデル実習】 ネイルケア（片手） ジェルネイルワンカラー ピーコック						
第5週	【相モデル実習】 ジェルネイルワンカラー ピーコック ネイルカラー						
第6週	【相モデル実習】 ネイルケア（片手） ジェルネイルワンカラー ピーコック						
第7週	【相モデル実習】 ジェルネイル初級通し60分						
第8週	【相モデル実習】 ジェルネイル初級通し60分						
第9週	ジェルグラデーションデモンストレーション ハンド実習						
第10週	ジェルフレンチカラーリングデモンストレーション ハンド実習						
第11週	ジェルスカルプチュアデモンストレーション ハンド実習						
第12週	ジェルグラデーション フレンチカラーリング ジェルスカルプチュアハンド実習①						
第13週	ジェルグラデーション フレンチカラーリング ジェルスカルプチュアハンド実習②						
第14週	ジェルグラデーション フレンチカラーリング ジェルスカルプチュアハンド実習③						
第15週	ジェルグラデーション フレンチカラーリング ジェルスカルプチュアハンド実習④						
評価方法	出席50%、実技テスト30%、身だしなみと授業態度10%、検定の合否10%、						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～						
実務経験	サロンワーク経験3年（株式会社 ライフビューティ）					実務経験のある教員による 授業科目	✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ジェルネイル応用演習Ⅱ	学科名				授業方法	演習
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・後期	時間数	105時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	ネイルケアとジェルネイルを施術するためにプロとしてサロンワークに必要な専門的知識と技術が問われるジェルネイル検定中級の検定対策とジェルネイル技能検定試験上級に対応したジェルスカルプチュア、ジェルチップオーバーレイとジェルフラワーアートの技術と知識を学ぶ授業 授業はハンドを使用して行う。						
到達目標	ジェルネイル検定中級の知識と技術の習得。検定の合格。						
授業計画・内容							
第1週	ジェルネイル検定中級検定要項説明 DVD鑑賞						
第2週	テーブルセッティング ジェルグラデーション						
第3週	ジェルフレンチカラーリング						
第4週	ジェルイクステンション						
第5週	ジェルグラデーション、ジェルイクステンション、ジェルフレンチカラーリング						
第6週	ジェルグラデーション、ジェルイクステンション、ジェルフレンチカラーリング						
第7週	ジェルグラデーション、ジェルイクステンション、ジェルフレンチカラーリング						
第8週	模擬テスト（85分）						
第9週	模擬テスト（85分）						
第10週	模擬テスト（85分）						
第11週	ジェルスカルプチュア チップオーバー3種 ハンド実習①						
第12週	ジェルスカルプチュア チップオーバー3種 ハンド実習①						
第13週	ジェルスカルプチュア チップオーバー3種 ハンド実習①						
第14週	ジェルスカルプチュア チップオーバー3種 ハンド実習①						
第15週	ジェルスカルプチュア チップオーバー3種 ハンド実習①						
評価方法	授業に取り組む姿勢・態度（30点） 出席率（50点） 検定結果（20点）を考慮し100点満点で評価する						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム（ジェルネイル）、ネイリスト技能検定試験公式問題集						
実務経験	サロンワーク経験3年（株式会社 ライフビューティ）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	アクリル基礎演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・前期	時間数	150 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	トップレベルのネイリストとして必要とされるアクリルを使用してのイクステンションの基礎的な技術の習得を目指した授業 授業はハンドを使用しておこなう						
到達目標	アクリルネイルを使用しての基礎的なイクステンション（ナチュラルスカルプチュア、チップ&オーバレイ）の技術と知識の習得						
授業計画・内容							
第1週	プロダクト説明 テーブルセッティング プロダクトコントロール						
第2週	プロダクトコントロール復習 ハンドのチップの付け方 フォームの付け方 1 ボール目実習						
第3週	プロダクトコントロール復習 フォームの付け方復習 アプリケーションと ピンチング						
第4週	ハンド実習 スカルプチュア①						
第5週	ハンド実習 スカルプチュア② チップ&オーバレイ①						
第6週	ハンド実習 スカルプチュア③ チップ&オーバレイ②						
第7週	ハンド実習 スカルプチュア④ チップ&オーバレイ③						
第8週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア①						
第9週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア②						
第10週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア③ 筆記試験対策①						
第11週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア④ 筆記試験対策②						
第12週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア⑤ 筆記試験対策③						
第13週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア⑥ 筆記試験対策④						
第14週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア⑦ 筆記試験対策⑤						
第15週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア⑧ 筆記試験対策⑥						
評価方法	授業に取り組む姿勢・態度（20点） 出席率（50点） 試験（30点）を考慮し100点満点で評価する						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステムアドバンス ネイリスト技能検定試験公式問題集						
実務経験	サロンワーク経験3年（株式会社 ライフビューティ）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	アクリル応用演習	学科名	トータルビューティ			授業方法	演習	
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・後期	時間数	45 時間	必須・選択	必須	
授業概要 ・ 授業内容	アクリルを使用した応用的なイクステンション技術のデザインスカルプチュアとアクリルでのオーバル、ポイント、コフィンの作り方の授業を行う。 実習はハンドを使用して行う							
到達目標	検定とは違うサロンワークで求められるフォルム作りと、認定講師試験でも必要とされる技術のデザインスカルプチュアを含むイクステンションアートの修得							
授業計画・内容								
第1週	☑アクリルでの爪の形の作り方① オーバル							
第2週	☑アクリルでの爪の形の作り方② ポイント							
第3週	☑アクリルでの爪の形の作り方③ コフィン							
第4週	☑アクリルでの爪の形の作り方④ ロングネイル							
第5週	アクリルでの爪の修理① アクリルコーティング							
第6週	デザインスカルプチュア①デモンストレーション ハンド実習							
第7週	デザインスカルプチュア②デモンストレーション ハンド実習							
第8週	デザインスカルプチュア③デモンストレーション ハンド実習							
第9週	デザインスカルプチュア④デモンストレーション ハンド実習							
第10週	デザインスカルプチュア応用① ハンド実習							
第11週	デザインスカルプチュア応用② ハンド実習							
第12週	デザインスカルプチュア応用③ ハンド実習							
第13週	デザインスカルプチュア応用④ ハンド実習							
第14週	デザインスカルプチュア応用⑤ ハンド実習							
第15週	デザインスカルプチュア応用⑥ ハンド実習							
評価方法	授業に取り組む姿勢・態度（20点） 出席率（50点） 作品提出（30点） を考慮し100点満点で評価する							
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム アドバンス							
実務経験	サロンワーク経験3年（株式会社 ライフビューティ）					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ネイルサロンワーク	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・後期	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	サロンワークを想定して必要とされるアート技術やマシンの使い方を学ぶ 授業は基本ハンドを使用して行う。必要性がある授業のみ相モデルで行う						
到達目標	ネイルマシンの基本的な使い方がマスターできることと、サロンワークで必要とされるアートの習得						
授業計画・内容							
第1週	ネイルマシンデモンストレーション① ハンド実習						
第2週	ネイルマシンデモンストレーション② ハンド実習						
第3週	ネイルマシンデモンストレーション③ 相モデル実習						
第4週	ネイルマシンデモンストレーション④ 相モデル実習						
第5週	ネイルアート①デモンストレーション ハンド実習						
第6週	ネイルアート②デモンストレーション ハンド実習						
第7週	ネイルアート③デモンストレーション ハンド実習						
第8週	サロンネイルアート① ハンド実習						
第9週	サロンネイルアート② ハンド実習						
第10週	サロンネイルアート③ ハンド実習						
第11週	サロンネイルアート④ ハンド実習						
第12週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル①						
第13週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル②						
第14週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル③						
第15週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル④						
評価方法	授業に取り組む姿勢・態度（20点） 出席率（50点） 試験（30点）を考慮し100点満点で評価する						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～						
実務経験	サロンワーク経験3年（株式会社 ライフビューティ）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ネイル集中演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・通年	時間数	75時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	ジェルネイル検定中級、上級、ネイリスト技能検定試験1級の検定対策、校内コンテスト対策、7月に行われるアジアネイルフェスティバルに向けてコンテスト対策を行う。 授業はハンドを使用して行う						
到達目標	ジェルネイル中級、上級、ネイリスト技能検定試験1級の技術の習得。検定の合格。						
授業計画・内容							
第1週	校内コンテスト対策①	第16週	検定1級対策⑧				
第2週	校内コンテスト対策②	第17週	検定1級対策⑨				
第3週	コンテスト対策①	第18週	ジェルネイル検定中級対策①				
第4週	コンテスト対策②	第19週	ジェルネイル検定中級対策②				
第5週	コンテスト対策③	第20週	ジェルネイル検定中級対策③				
第6週	コンテスト対策④	第21週	ジェルネイル検定中級対策④				
第7週	コンテスト対策⑤	第22週	ジェルネイル検定中級対策⑤				
第8週	コンテスト対策⑥	第23週	ジェルネイル検定中級対策⑥				
第9週	検定1級対策①	第24週	ジェルネイル検定上級検定要項説明 DVD鑑賞 テーブルセッティング				
第10週	検定1級対策②	第25週	模擬テスト（85分）				
第11週	検定1級対策③	第26週	模擬テスト（85分）				
第12週	検定1級対策④	第27週	模擬テスト（85分）				
第13週	検定1級対策⑤	第28週	模擬テスト（85分）				
第14週	検定1級対策⑥	第29週	模擬テスト（85分）				
第15週	検定1級対策⑦	第30週	模擬テスト（85分）				
評価方法	授業に取り組む姿勢・態度（30点） 出席率（50点） 検定・コンテスト結果（20点）を考慮し100点満点で評価する						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム（ジェルネイル） JNAテクニカルシステムアドバンス ネイリスト技能検定試験公式問題集						
実務経験	サロンワーク経験3年（株式会社 ライフビューティ）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ヘアスタイリング		学科名	トータルビューティ学科		授業方法	演習	
担当教員	白神 健一		学年・学期	2年・通年	時間数	60時間	必須・選択	選択
授業概要 ・ 授業内容	<p>・メイク技術も大切だが、現代における美しい女性像の中にはヘアスタイルとメイクのバランスがとても大切であるという認識が広がっている。</p> <p>・授業方法は実技演習を中心に行い、前期ではスタイリングの基礎技術と知識（編み込技術・アイロンの使い方・スタイリング剤の種類など）を勉強し、後期ではウィッグにてオリジナルヘアスタイルの作成を行う。</p>							
到達目標	<p>・ 日常必要なアップスタイルをベースに編み込みやカーラー巻、アイロンを使用しヘアアレンジを目的とする。</p> <p>・ 現場で困らないために、まとめ髪やアレンジスタイルなど、幅広い技術を習得する。</p>							
授業計画・内容								
第1週	・基礎技術習得① ・表編み、裏編み、フィッシュボーンなど		第16週	・応用技術習得 ・逆毛の立て方、ピンの打ち方				
第2週	・基礎技術習得② ・三つ編み込、表編み込、裏編み込		第17週	・アップスタイル作成 ・シニョン技術を習得①				
第3週	・基礎技術習得③ ・片編み込み、表編み込、裏編み込		第18週	・アップスタイル作成 ・シニョン技術を習得②				
第4週	・アイロンの使い方 ・ローラーの巻き方		第19週	・アップスタイル作成 ・夜会巻技術を習得①				
第5週	・アイロンやローラーを使用した仕込み技術①		第20週	・アップスタイル作成 ・夜会巻技術を習得②				
第6週	・アイロンやローラーを使用した仕込み技術②		第21週	・アップスタイル作成 ・ブライダルスタイル技術を習得①				
第7週	・編み込みアレンジ① ・編み込みを駆使したハーフアップスタイル①		第22週	・アップスタイル作成 ・ブライダルスタイル技術を習得②				
第8週	・編み込みアレンジ② ・各編み込を駆使したハーフアップスタイル②		第23週	・アップスタイル作成 ・ギブソンタックスタイル技術を習得①				
第9週	・編み込みアレンジ② ・各編み込を駆使したアップスタイル①		第24週	・アップスタイル作成 ・ギブソンタックスタイル技術を習得②				
第10週	・編み込みアレンジ② ・各編み込を駆使したアップスタイル②		第25週	・オリジナルヘアスタイルを作成 ・シニョンスタイル				
第11週	・編み込み等のほぐし方やバランスの見極め ・学生の感性を磨く		第26週	・オリジナルスタイルを作成 ・夜会巻スタイル				
第12週	・アイロンやローラー技術の復習		第27週	・オリジナルヘアスタイルを作成 ・ブライダルスタイル				
第13週	・編み込みを使ったヘアスタイル ・前期試験に向けてのヘアスタイル①		第28週	・オリジナルヘアスタイルを作成 ・ギブソンタックスタイル				
第14週	・編み込みを使ったヘアスタイル ・前期試験に向けてのヘアスタイル②		第29週	・オリジナルヘアスタイルを作成 ・後期試験に向けて作品練習（60分）				
第15週	・前期試験（編み込み技術を駆使したスタイル） ・テーマは「自由」 試験時間は40分		第30週	・後期試験（編み込やローラー等を使用する事） ・テーマは「自由」仕込み含めて試験時間は60分				
評価方法	<p>・ 定期試験を実施し技術課題と授業態度や出席状況を考慮し成績を評価する。</p> <p>※評価目安：技術課題（80）%・授業態度や出席（20）%</p>							
教科書 教材など	<p>・ プロジェクター（パワーポイント使用）</p> <p>・ 出版社： 新美容出版等（美容雑誌）。 書名：#かねこアレンジ／SHINBIYO等の美容雑誌</p>							
実務経験	白神 健一：美容師歴6年				実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	色彩学Ⅱ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	小川智子	学年・学期	2年・前期	時間数	30時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色彩の基礎知識を学び色彩を表現の一つとして、理論的に考える力をつける授業である。 ・ AFT色彩検定3級受験内容を習得することを目標とする 						
到達目標	「感覚的に使う色」から「意図を持った色」えらびができる知識を学ぶ。得た知識は、12月の色彩検定の合格することを目指す						
授業計画・内容							
第1週	色の働き・光と色						
第2週	光と色・色の表示						
第3週	色の表示・慣用色名						
第4週	慣用色名						
第5週	色彩心理						
第6週	色彩心理						
第7週	色彩心理						
第8週	色彩調和						
第9週	色彩調和						
第10週	色彩調和						
第11週	色彩調和						
第12週	色彩調和・配色イメージ						
第13週	ファッション						
第14週	インテリア・慣用色名						
第15週	まとめ・問題集						
評価方法	定期試験を実施し試験の点数、出席日数、授業態度、提出物、作品の精度を考慮して成績を評価する 評価 目安：試験の点数（60％）、提出物（20％）、作品の精度・授業態度、出席状況（20％）						
教科書 教材など	色彩検定3級公式テキスト・過去問題集・配色カード						
実務経験	色彩検定対策授業担当20年以上				実務経験のある教員による 授業科目		

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	POP		学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択	
担当教員	岩崎 孝子		学年・学期	2年・後期	時間数	30時間	授業方法	講義	
授業概要 ・ 授業内容	<p>・お店に役立つ人材としてPOPを描ける事も必要であり、そのためにフェルトペン（油性マーカー・水性マーカー）を使用し、プライスカード、ショーカード、イラストなど作成にバランス、センス、スピード良く描けるように学ぶ授業である。</p> <p>・授業は講義形式で講師作成プリントや資料を参考に授業を進め、丸カラーペンの使用方法の基礎から応用までを教え、実際に学生一人ひとりに作成させ成長度を確認し学習していく。</p>								
到達目標	<p>・色彩も兼ねてPOP（プライスカード、ショーカードなど）作成に取り組み、作品が美的センス良く、仕上げられよう にアドバイスし就職時に役立つように理解度を深める。</p>								
授業計画・内容									
第1週	POPについて、丸マーカーの基礎								
第2週	丸マーカー 数字								
第3週	〃 カタカナ、英文字								
第4週	〃 ひらがな、漢字								
第5週	イラストレーション								
第6週	平面から立体								
第7週	丸マーカー 名前								
第8週	角マーカー 数字、カタカナ								
第9週	〃 英文字、色彩								
第10週	〃 ひらがな								
第11週	〃 漢字								
第12週	イリュージョン								
第13週	ぬり絵制作								
第14週	プライスカード、ショーカード								
第15週	各々1枚に仕上げる								
評価方法	<p>・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>評価目安：POPの作成能力度（55%）・成長度や提出物（25%）・授業態度や出席（20%）</p>								
教科書 教材など	POP広告クリエイター技能試験ガイド POPレタリング&デザイン①②③ 実戦POPハンドブック カラーマーカー								
実務経験	デザイン会社勤務、カルチャースクール講師					実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロン経営学	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義	
担当教員	井上祐樹	学年・学期	2年・前期	時間数	15時間	必須・選択	必須	
授業概要 ・ 授業内容	メイクアップ、エステティック、ネイルなどのサービス提供者として店舗を運営をしていくにあたり、「運営・管理・教育」に関することを学ぶ。また、仕事に従事し、サロンを運営する一員としての自覚を養う。授業は講義形式で行う。							
到達目標	経営者でなくとも、ビューティ業界の一員としてお客さまが安心して任せられるサロン作りの一翼を担うスタッフとしての経営意識をもって仕事に取り組むことができることを目標とする。							
授業計画・内容								
第1週	サロン経営学の授業概要、受講上の注意							
第2週	サロン経営とは サロンを取り巻く環境							
第3週	サロン開設①（サロンコンセプト）							
第4週	サロン開設②（マーケティング、競合分析）							
第5週	サロン開設③（サロンメニュー作り）							
第6週	サロン開設④（広告、SNS）							
第7週	サロン開設⑤（資金、書類）							
第8週	サロンの運営と管理①（就業規則、スタッフマネジメント）							
第9週	サロンの運営と管理②（トレーニング計画、教育）							
第10週	サロンの運営と管理③（顧客マネジメント、クレーム管理）							
第11週	サロンの運営と管理④（リピートする仕組み作り、キャンペーンの作り方）							
第12週	サロンの運営と管理⑤（資産管理、売り上げ管理）							
第13週	法令遵守（コンプライアンス）							
第14週	社会人としての心構え①（学生と社会人の違い、入社から退社までの基本ルール）							
第15週	社会人としての心構え②（職場の人間関係、注意・忠告の受け方や仕方）							
評価方法	定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（70%）・課題提出（15%）授業態度や出席（15%）							
教科書 教材など	プリント							
実務経験	美容師歴6年/教育センター（運営管理取得）					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	就職ゼミ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	木村 裕美/キャリア	学年・学期	2年・前期	時間数	15 時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>卒業後の就職活動に向けての必要な知識を学ぶ。また、就職に関するガイダンス・企業説明会等を実施し、就職活動に関する情報を提供する。その情報をもとに、自分自身が取捨選択し、解決能力を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>授業は講義形式・グループワークを組み合わせで行う。就職活動の進捗に応じて個別の面接練習を行う。</p>						
到達目標	<p>就職の目的や目標を明確にし、将来目指す職業への関心を深め、働くことの意義や職業理解を通じて、学生一人ひとりが意欲的に就職活動に向けた行動がとれるようにする。</p>						
授業計画・内容							
第1週	業界・職業を知る①（業界研究）						
第2週	業界・職業を知る②（企業研究）						
第3週	業界・職業を知る③（卒業生ガイダンス）						
第4週	グループディスカッション演習③						
第5週	グループディスカッション演習④						
第6週	クレペリン検査模擬試験						
第7週	能力適性検査模擬試験						
第8週	グループワーク演習③						
第9週	グループワーク演習④						
第10週	会社説明会の参加の仕方						
第11週	企業を知る（企業ガイダンス）						
第12週	面接試験のマナー①						
第13週	面接試験のマナー②						
第14週	履歴書の書き方①						
第15週	履歴書の書き方②						
評価方法	<p>定期試験、課題提出および内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安：定期試験（60％）・課題やレポート（20％）・授業態度や出席（20％）</p>						
教科書 教材など	プリント、就職ハンドブック						
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年				実務経験のある教員による		授業科目